

（認可物更）

THE MUTSU SHIMPO

陸奥新報

6月27日
日曜日

©陸奥新報社2021

文化……………7
こども新報……8|9
スポーツ…………11|12
芸能・BS…………13

陸奥新報社 〒036-8356 弘前市下白銀町2の1 ☎0172-34-3111(代表) www.mutusinpou.co.jp

基調講演で森里川海プロジェクトなどについて説明する中井環境事務次官



森の復元・再生活動紹介

白神環境フォーラム

保全へ理解深める

鱒ヶ沢

「NPO法人の白神山地を守る会、白神自然学校一ツ森校（ともに永井雄人代表理事）は26日、鱒ヶ沢町の舞戸公民館で白神環境フォーラム（県、鱒ヶ沢町、陸奥新報社など後援）を開いた。環境省の担当者や専門家が世界自然遺産白神山地の現状や自然環境保全の取り組みを説明、町内外から参加した約100人が理解を深めた。

世界遺産登録28周年を記念して開いたもので、開会に当たり、永井代表理事が「鱒ヶ沢町は（白神がもたらす）森と川、海の豊かな水によって形成されている

環境省の中井徳太郎環境事務次官が「地域循環共生圏の構築と森里川海プロジェクト」と題して基調講演し、持続可能な循環共生型社会の構築を目指す取り組みや、森や海などの自然を豊かに保って恵みを引き出すプロジェクトについて解説。人間の生活に起因する環境変化については、災害をもたらす気候変動と新型コロナウイルス感染症を代表例に挙げ「われわれは二つの危機に直面している。これが別物ではない。同じ解決方法が必要だ」と訴えた。

白神山地の森林生態系に関する現状報告や事例発表も行われた。（下山高秋）